

日 薬 業 発 第 291 号
令和 7 年 10 月 31 日

都道府県薬剤師会担当役員 殿

日本薬剤師会
副会長 原口 亨

令和 7 年度厚生労働省委託「在宅医療の効率化のためのデジタル化及びICT導入
促進に向けた実態調査事業」に関するご協力のお願い

平素より本会会務にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、2040年に向けては多くの地域で在宅患者数の増加が見込まれる一方、生産年齢人口の減少により医療・介護職種の人材確保が課題になることから、医療・介護の質を担保した上で、効率的かつ効果的に在宅医療・介護の提供等が実現できるよう、デジタル化・ICTを活用した情報連携等の進展が期待されております。

このような背景等を踏まえ、今般、在宅医療に取り組む医療機関、薬局、訪問看護事業所におけるデジタル化・ICTの活用等に関する実態を把握し、また有効な事例を横展開することを目的として、標記事業にてアンケート調査が実施されることとなりましたので、お知らせいたします。

調査対象は1,500薬局（在宅薬学総合体制加算を算定する保険薬局から無作為に抽出）であり、依頼状等は既に発送が開始されております。（回答期限：11月7日（金）。調査依頼状記載のURLよりWEBで回答）。

貴会におかれましても本調査の実施につきご了知頂きますとともに、依頼状等が送付された対象薬局におかれましては積極的にご回答いただきますよう、貴会会員にご周知の方何卒よろしくお願ひ申し上げます。

＜別添＞

1. 調査依頼状（例）
2. 薬局調査票（参考）

別添 1

令和7年度厚生労働省委託

在宅医療の効率化のためのデジタル化及び ICT 導入促進に向けた実態調査事業

「多職種連携等のための ICT 等の活用状況調査」ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

厚生労働省では、デジタル化及び ICT(情報通信技術)等の導入による在宅医療の効率化のための効果的な施策の分析を行うことにより、地域における在宅医療の提供体制の確保に資することを目的に「在宅医療の効率化のためのデジタル化及び ICT 導入促進に向けた実態調査事業」を実施しています。本年度は PwC コンサルティング合同会社が委託を受け、本事業を実施します。

全国における在宅医療(訪問診療・訪問看護)の利用者数は、2040 年まで継続的に増加することが見込まれる一方、生産年齢人口の減少に伴い、医療従事者の確保が困難になっていくことが見込まれます。そのため、デジタル化や ICT 等の手法により、在宅医療の質を担保しつつ、効率化も図ることが今後の持続可能な在宅医療の提供体制の確保のための重要な課題となっています。

本調査は、幅広くICT の活用状況等に関する事例を収集するために実施します。本調査には、令和 7 年 11 月 7 日(金)までにご回答いただきますようお願い申し上げます。ご多用の折、ご負担をおかけし、大変恐縮ですが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、調査項目では ICT やオンライン診療等を「活用していない」という選択肢もございます。現在活用されていない施設等におかれましても、内容をご確認いただきご回答いただきますようお願い申し上げます。

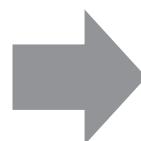
敬具

【主な調査項目】

- ・在宅医療における多職種連携のための ICT 等の活用状況
- ・在宅医療におけるオンライン診療等の活用状況
- ・自施設の業務の効率化に係る ICT 等の活用状況

本調査は、下記の Microsoft Forms にて実施しております。下記 URL または二次元コードよりアクセス頂き、ご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/...>



二次元
コード

【事業実施者】

「在宅医療の効率化のためのデジタル化及び ICT 導入促進に向けた実態調査事業」事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-2-1 Otemachi One タワー

PwC コンサルティング合同会社 公共事業部

E-mail :

※ご質問等は、E-mail でご連絡いただけますと幸いです。折り返し、弊社担当者からご連絡をさせていただきます。

【委託元】 厚生労働省医政局地域医療計画課 外来・在宅医療対策室

医療機関所在地(郵便番号)

医療機関所在地(住所)

医療機関名称 ご担当者 様

施設 ID : 123456

※調査回答に当たり、上記施設 ID が必要になります。

別添 2

注意：選択肢による分岐のため、表示されない設問等がある場合があります

* 必須

基本情報

貴施設の基本情報について教えてください。

1.貴施設の本アンケートの施設IDを記載ください。 (6桁の数字、依頼ハガキに記載)

*

2.貴施設が所在する都道府県を選択してください。 *

3.貴施設名を記載ください。 *

4.主に在宅医療に従事する薬剤師の年代を選択してください。 *

- 20歳代～30歳代
- 40歳代～50歳代
- 60歳代～70歳代
- 80歳代以上

5.ご回答者様の役職を記載ください。 *

6.ご回答者様の氏名を記載ください。 *

7.メールアドレスを記載ください。 *

8.電話番号を記載ください。 (ハイフンなし) *

9.貴施設のウェブページがある場合、URLを記載ください。

10.貴施設の直近1年間（令和6年6月～令和7年5月）の在宅の訪問件数を記載ください。（医療保険・介護保険の訪問件数の合計。概数で構いません） *

※当該期間中の訪問件数の総数をご記入ください。

11.貴施設において直近1年間（令和6年6月～令和7年5月）に訪問を行った患者数を記載ください。（医療保険・介護保険の訪問件数の合計。概数で構いません）*

※訪問の件数ではなく患者数をご記入ください。当該期間中、同一患者に複数回訪問を行った場合、「1」としてカウントください。

12.貴施設が訪問等を行っている地域の特性で、該当するものを選択してください。
(複数選択可能)*

へき地：都道府県によってへき地指定を受けている地域

中山間地域：平野部と山間部の中間に位置する地域

離島：本土（北海道、本州、四国、九州）から離れた島嶼部

半島：三方を海に囲まれた半島地域

豪雪地帯：積雪量が多く、住民生活や産業に支障があると国が認定した地域

へき地

中山間地域

離島

半島

豪雪地帯

該当するものはない

13.自地域の医療機関の在宅医療提供体制として近い類型を選択してください*

○診療所間の連携により在宅医療を提供（診療所間の連携により訪問診療等を提供し、在宅医療ニーズに対応。必要に応じて急性期病院等と連携している地域）

○病院が中心となり在宅医療を提供（訪問診療を実施可能な診療所のない地域や、診療所のみでは在宅医療ニーズに対応できない地域などで、病院が訪問診療等を実施したり、診療所と高度急性期病院の間をつなぐハブになり連携している地域）

○地域の診療所と中核病院等をつなぐ診療所がハブとなり在宅医療を提供（地域の中核病院と診療所の間をつなぐ役割を診療所が担い連携している地域）

○上記のような連携には該当せず、各医療機関で在宅医療を提供

その他

14.1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

ICT導入状況

貴施設の多職種連携のためのICT導入状況について教えてください。

15.在宅医療を提供する多職種の連携（特に医療機関との連携）のためにICTを活用していますか。 *

※ここでのICT活用は、例えばメディカルケアステーションやカナミッククラウド、バイタルリンクなどの多職種連携システムを活用し、情報連携していることなどを想定しています。「活用している」を選択すると、活用システムを選択する間に遷移します。

※連携する医療機関ごとに、ICT活用状況が異なる場合（例えば一部の医療機関とはICTを用いて連携しているが、一部の医療機関とはICTを用いていない場合など）は、「活用している」を選択してください。

○活用している

○活用していない（活用を検討したことが無い）

○活用していない（活用を検討したが、断念した）

16.活用しているシステムを選択してください。（複数選択可能） *

メディカルケアステーション（エンブレース）

カナミッククラウド（カナミックネットワーク）

MeLL+（メルタス）（ワイズマン）

地域包括ケアシステムぱるな（ND ソフトウェア）

電子@連絡帳（IIJ）

バイタルリンク（帝人ファーマ）

HumanBridge（富士通）

ID-Link（NEC・SEC）

TRITRUS（カナミックネットワーク）

C@RNA Connect（富士フィルムメディカル）

地域で独自に構築している医療情報ネットワーク基盤

その他

17.1つ前の問で「地域で独自に構築している医療情報ネットワーク基盤」もしくは「その他」を選択した場合、具体的な名称を記載ください。

18.ICT連携の導入にあたって、どの部分が障壁・課題になったか選択してください。（複数選択可能） *

事前検討・現状分析（ICT活用等に関する患者ニーズ及び従業員等のニーズの把握が難しい、どのような情報を共有すれば効果的かわからない等）

- 対象選定（関係機関、患者等）（ICT等で連携すべき関係機関、対象患者等の選定方法が分からぬ等）
- 合意形成（自施設内外の合意形成や、患者の同意取得が困難である等）
- 人材配置及び育成（ICTツールを活用できる人材の配置・育成を行う必要がある等）
- 導入システムの選定（実施したい内容に応じて、どのようなシステム・ツールを選定すれば良いかわからない、施設によって様々なICTツールを活用しており連携しづらい等）
- コスト（事業費用が過大、費用対効果をイメージしづらい等）
- セキュリティ対策（セキュリティリスクに備えた対応、セキュリティ規定などの整理が難しい）
- ルール・マニュアル策定（活用フローやセキュリティ規定などの取り決めが難しい）
- 効果把握・事業評価（取組の効果をどのように把握すればよいかわからず、事業評価や見直しを行えない等）
- 特に障壁・課題はなかった
- その他

19. 1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

20. 選択した障壁・課題について、対処のために行った工夫等があれば教えてください。

21. 自施設での活用に限らず、在宅医療において、多職種間のICT連携等による効率化が進みづらい要因は何だと考えますか。（複数選択可能） *

- 関係者のICT活用に対する理解を得づらい
- ICT連携する際のルールがない
- 連携ルールを策定する人材、体制を揃えるのが困難
- 導入費用・運用費用の負担が困難
- 費用対効果のイメージができない
- 施設ごとに異なる情報連携ツールを使用しており連携しづらい
- セキュリティ対策を講じるのが難しい
- その他

22. 1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

23.ICTで情報連携を行う在宅医療の主な場面を教えてください。 (複数選択可能) *

- 日常の療養支
- 入退院支援
- 急変時の対応
- 看取り

24.複数のシステムを活用している場合、その理由（1つのシステムにまとめることができない理由など）を選択してください。 (複数選択可能) *

- 1つのシステムでは機能が不足しているため
- 連携施設ごとに異なるシステムを使用しており、連携先に応じてシステムを使い分ける必要があるため
- その他
- 1つのシステムのみ活用している

25. 1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

26.情報連携に活用しているシステムの数を教えてください。

27.システムで共有している情報を選択してください。 (複数選択可能) *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況

- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点

28.システムで共有している情報のうち、医師と共有している情報を選択してください。 (複数選択可能) *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 医師と共有している情報は無い

29.システムで共有している情報のうち、歯科医師と共有している情報を選択してください。 (複数選択可能) *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）

- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 歯科医師と共有している情報は無い

30.システムで共有している情報のうち、薬剤師と共有している情報を選択してください。
(複数選択可能) *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 薬剤師と共有している情報は無い

31.システムで共有している情報のうち、看護師と共有している情報を選択してください。
(複数選択可能) *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報

- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 看護師と共有している情報は無い

32.システムで共有している情報のうち、保健師と共有している情報を選択してください。（複数選択可能） *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 保健師と共有している情報は無い

33.システムで共有している情報のうち、管理栄養士と共有している情報を選択してください。（複数選択可能） *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報

- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 管理栄養士と共有している情報は無い

34.システムで共有している情報のうち、医療ソーシャルワーカー（MSW）／社会福祉士と共有している情報を選択してください。（複数選択可能）*

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 医療ソーシャルワーカー（MSW）／社会福祉士と共有している情報は無い

35.システムで共有している情報のうち、理学療法士／作業療法士／言語聴覚士と共有している情報を選択してください。 (複数選択可能) *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 理学療法士／作業療法士／言語聴覚士と共有している情報は無い

36.システムで共有している情報のうち、介護支援専門員（ケアマネジャー）と共有している情報を選択してください。 (複数選択可能) *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況

- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 介護支援専門員（ケアマネジャー）と共有している情報は無い

37.システムで共有している情報のうち、地域包括支援センターの職員（保健師等を含む）と共有している情報を選択してください。（複数選択可能） *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 地域包括支援センターの職員（保健師等を含む）と共有している情報は無い

38.システムで共有している情報のうち、都道府県・保健所担当者と共有している情報を選択してください。（複数選択可能） *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）

- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 都道府県・保健所担当者と共有している情報は無い

39.システムで共有している情報のうち、市区町村担当者と共有している情報を選択してください。（複数選択可能） *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報
- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 市区町村担当者と共有している情報は無い

40.システムで共有している情報のうち、消防関係者と共有している情報を選択してください。（複数選択可能） *

- 患者の基礎情報（年齢・性別など）
- 患者の家族の情報
- 患者の疾患に関する情報
- 患者の訪問診療・訪問看護の状況
- 緊急時に連絡対応する医療機関の情報

- 緊急時に往診する医療機関の情報
- 緊急時に入院を受け入れる医療機関の取り決め
- 緊急時に連絡を取るキーパーソンの連絡先
- 患者のバイタル情報（血圧・心拍・呼吸数・体温）
- 患者の画像データ（レントゲン、心電図、CT等）
- 患者のADLの変化状況
- 患者の服薬情報や管理状況
- 患者の介護サービス利用状況
- 治療方針の変更の有無・概要
- 医療・ケアを行う際の留意点
- 消防関係者と共有している情報は無い

連携機関

連携している機関について教えてください。

41.ICT連携している施設数の合計を記載ください。 (概数で構いません) *

42.ICT連携している機関の種類を選択してください。 (複数選択可能)

- 地域の中核病院
- 上記以外の病院（在支病を含む）
- 医科診療所（在支診を含む）
- 歯科診療所
- 薬局
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- 入所介護施設（特養、老健など）
- 通所介護施設（通所リハビリテーション事業所など）
- 訪問介護事業所
- 地域包括支援センター
- 医師会
- 歯科医師会
- 薬剤師会
- 看護協会

- 都道府県
- 保健所
- 市区町村
- 消防（救急）
- 配食サービス事業者
- 患者家族
- その他

43.1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

導入の契機

ICT導入の契機について教えてください。

44.ICTの導入契機・目的を選択ください。（複数選択可能）*

- 多職種間での情報共有の円滑化を図るため
- 医療・ケアの質の担保・向上、ミスの低減を図るため
- 業務時間の短縮を図るため
- 訪問件数の増加を図るため
- 紹介患者数の増加を図るため
- その他

45.1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

ICT導入における効果

ICT導入における効果を教えてください。

46.ICT導入における効果を選択ください。（複数選択可能）*

- 業務時間の短縮につながった
- 自施設が担当している在宅療養患者1人当たりの訪問件数が増加した
- 自施設が担当する在宅療養患者の総数が増加した
- 診療情報を発信することで多職種との情報提供が円滑化された
- 多職種から情報を得られることで、訪問診療時の患者への対応に活かすことが

できた

- 医療・ケアの質の担保・向上、ミスの低減につながった
- 患者紹介の手続きが円滑化された
- その他

47.1つ前で回答した効果について、具体的な内容を記載ください。

事業費用

導入時及び運用時の費用負担について教えてください。

48.導入時の費用をどのように負担したか選択してください。 *

- 施設で全て負担
- 地域の施設等で按分（自施設で一部負担）
- 行政や地域の職能団体等が負担（自施設で一部負担）
- 行政や地域の職能団体等が負担（自施設の負担なし）

49.運用時の費用をどのように負担したか選択してください。 *

- 自施設で全て負担
- 地域の施設等で按分（自施設で一部負担）
- 行政や地域の職能団体等が負担（自施設で一部負担）
- 行政や地域の職能団体等が負担（自施設の負担なし）

ICT連携における課題

システム導入後、運用時の課題について教えてください。

50.導入したICT連携を活用している際に、どの部分に障壁・課題があるか選択してください。（複数選択可能） *

- システムの使い方が難しい
- 従来の業務のやり方に比べ手間がかかる場合がある
- 関係者のICT活用に対する理解を得づらい
- ICT連携のルール（例：夜8時以降はメンションしない。緊急時には電話も合わせて入れる等）が無い、または浸透していない

- 患者同意を取得するのが困難
- 関係者の管理に手間がかかる（登録・削除など）
- 運用費用の負担が大きい
- 取組の効果をどのように把握すればよいかわからず、事業評価や見直しを行えない
- 情報が多くすぎて、必要な情報の取捨選択が難しい
- セキュリティ対策を講じるのが難しい
- その他

51.1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。回答を入力してください

ICT連携におけるルール

ルールやマニュアル等の取り決めについて教えてください。

52.ICTを活用する上で、ルール等の取り決めがありますか。 *

(例：夜8時以降はメンションしない。緊急時には電話も合わせて入れる 等)

- ある
- ない

53.ICTを活用する上で、マニュアルや関係者への研修がありますか。 *

- ある
- ない

今後の活用予定等

現在活用しているICTについて、今後の活用予定を教えてください。

54.本アンケートで回答したICT活用による多職種連携について、今後拡大予定ですか。 *

- 拡大予定
- 縮小予定
- 現状維持

未定

55.1つ前の問の回答の理由を記載ください。

医療DXの活用状況

電子処方箋等の活用状況を教えてください。

56.在宅医療を受けている患者への服薬指導において、オンライン服薬指導を活用していますか。 *

活用している

活用していない

57.在宅医療におけるオンライン服薬指導の実施件数（令和6年6月～令和7年5月の1年間）を教えてください。 *

58.在宅医療における患者の服薬指導について、オンライン服薬指導で実施することについて、どのようなメリットを感じていますか。（複数選択可能） *

訪問件数が増加した

移動時間の短縮につながった

地理的な観点で訪問範囲が拡大した

実地の訪問に加えて、患者への介入の頻度が上がった

患者の様子を見る時点が多くなり、急変等の事態に発展することが少なくなつた

休日夜間の対応がより可能になった

多職種が訪問している際に連携しやすくなった感染症リスクの低減につながった

その他

59.在宅医療におけるオンライン服薬指導実施後に、患者へどのように医薬品を提供していますか。（主なものを1つ選択） *

薬局の薬剤師自らが患者（宅）へ医薬品を持って行っている

薬局の事務員（薬剤師資格を有しない者）が患者（宅）へ医薬品を持って行っている

- 民間の宅配サービスを利用している
- その他

60. 1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

61. 在宅医療の処方箋を受ける際に、電子処方箋を活用していますか。 *

- 活用している
- 導入しているが、活用していない導入していない

62. 電子処方箋の効果（電子処方箋を活用している薬局側から見た効果）を教えてください。（複数選択可能） *

- 過去の処方情報を閲覧して、処方内容の確認・監査に活用することができた
- 重複・多剤投与について医療機関と連携して対応しやすくなった
- 処方箋の受取りまでや受取り後の調剤までに係る作業時間が短縮された
- オンライン服薬指導を実施しやすくなった
- その他

63. 1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

64. 在宅医療と複数医療機関からの処方の重複投薬や医薬品相互作用のアラート機能を活用して、処方変更提案につなげた事例がありますか。 *

- ある
- ない

65. 活用事例の具体的な内容を記載ください。

自施設内の業務効率化に関するICT活用状況

自施設内の業務効率化に関するICT活用状況を教えてください。

自施設内の業務効率化のためにICTを活用していますか。 *

※ここでのICT活用は、例えば次のようなICTを活用し自施設内の業務効率化を行っていることなどを想定しています。「活用している」を選択すると、活用システムを選択する間に遷移します。

(例) 薬歴等への音声入力システム、薬局からの病院・診療所の電子カルテ閲覧システム、

- 日常業務等の自動化システム（RPA）等
- 活用している
- 活用しているが、不十分・改良の余地がある
- 活用していない（導入を検討したことが無い）
- 活用していない（導入を検討したが、断念した）

67.自施設内の業務効率化のために活用しているシステムを選択してください。（複数選択可能） *

- 薬歴等への音声入力システム
- 薬局からの病院・診療所の電子カルテ閲覧システム
- 電子問診・AI問診システム
- 同意取得の電子化
- AI文書作成システム
- 日常業務等の自動化システム（RPA）
- 服薬指導後の継続的な薬学的管理の支援システム
- 薬剤鑑査支援別システム
- その他

68.1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

69.自施設内の業務効率化のためのICTの導入契機・目的を選択してください。（複数選択可能） *

- 業務時間短縮
- 人手不足への対応
- 情報共有の円滑化
- ミス等の低減
- その他

70.1つ前の問で「その他」を選択した場合、具体的な内容を記載ください。

71.自施設内の業務効率化に関するICT導入時に実際に検討・実施したことを選択してください。（複数選択可能） *

- 事前検討・現状分析（ICT活用等に関する従業員等のニーズの把握、どのような情報を共有すれば効果的か分析等）

- 業務の棚卸（業務のどの部分にICTを活用するか整理、業務の棚卸等）
- 対象選定（患者等）（対象患者等の選定等）
- 合意形成（自施設内の合意形成、患者の同意取得等）
- 人材配置及び育成（ICTツールを活用できる人材の配置・育成等）
- 導入システムの選定（実施したい内容に応じて、どのようなシステム・ツールを選定するか検討等）
- コスト（事業費用、費用対効果の分析等）
- ルール・マニュアル策定（活用フローやセキュリティ規定などの策定等）
- 効果把握・事業評価（取組の効果把握方法、事業評価や見直し方法の検討等）
- 特に実施・検討事項は無い

72.自施設内の業務効率化に関するICT導入時に障壁・課題になったことを選択してください。（複数選択可能）*

- 事前検討・現状分析（ICT活用等に関する従業員等のニーズの把握が難しい、どのような情報を共有すれば効果的かわからない等）
- 業務の棚卸（業務のどの部分にICTを活用するか整理できない、業務の棚卸が困難）
- 対象選定（患者等）（対象患者等の選定方法が分からぬ等）
- 合意形成（自施設内の合意形成や、患者の同意取得が困難である等）
- 人材配置及び育成（ICTツールを活用できる人材の配置・育成を行う必要がある等）
- 導入システムの選定（実施したい内容に応じて、どのようなシステム・ツールを選定すれば良いかわからない等）
- コスト（事業費用が過大、費用対効果をイメージしづらい等）
- ルール・マニュアル策定（活用フローやセキュリティ規定などの取り決めが難しい）
- 効果把握・事業評価（取組の効果をどのように把握すればよいかわからず、事業評価や見直しを行えない等）
- 特に障壁・課題はなかった

73.1つ前の問で回答した障壁・課題に対して、行った工夫等があれば教えてください。

ヒアリング協力可否等

74.本事業のヒアリング調査へご協力いただくことが可能ですか。 *

可

不可

75.本アンケートで回答いただいた取組に関するウェブページ等のURLがあれば、記載ください。参考資料等がある場合は、以下事務局メールアドレスまでご送付ください。